

建築物と建築物との接続審査基準

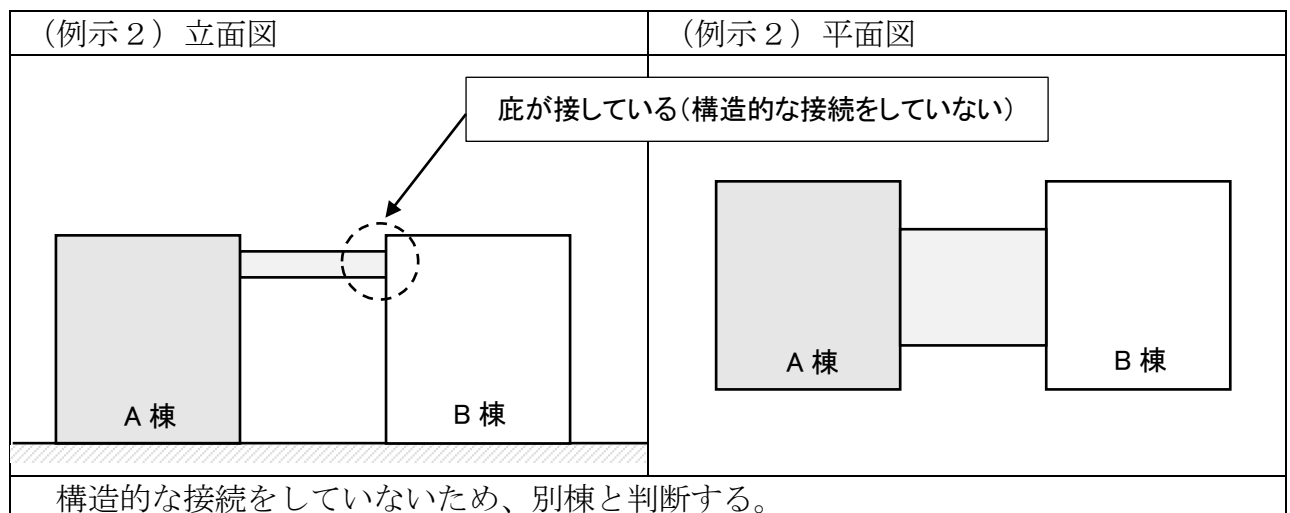
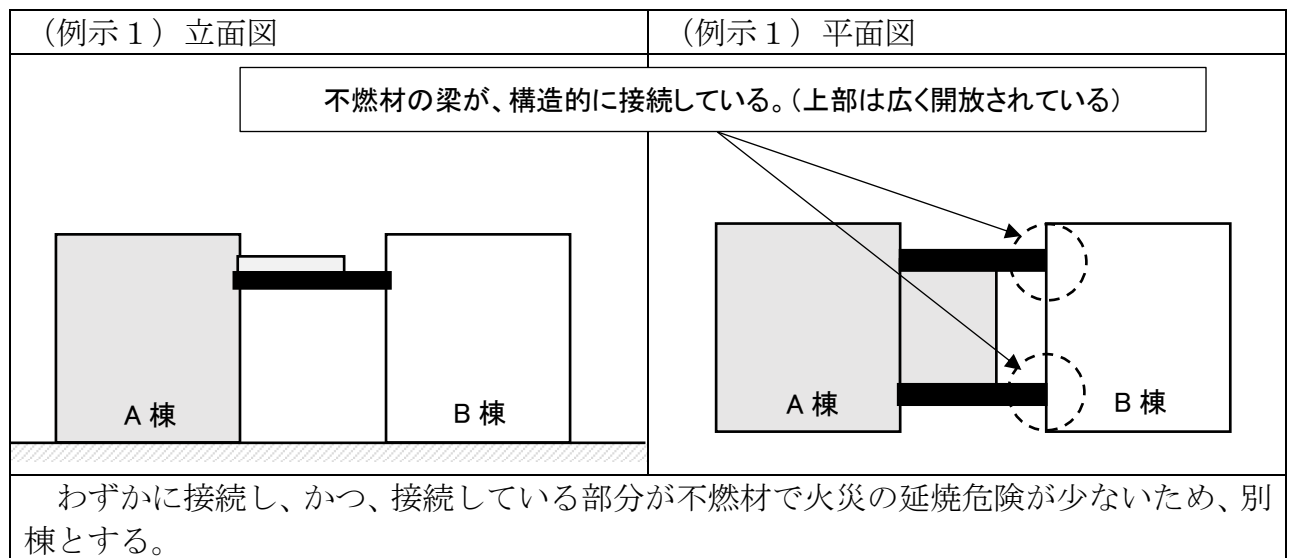
この基準は、消防用設備等の設置単位を判定するために、建築物と建築物との接続についての審査基準を次のとおり定めるものとする。また、この審査基準で接続していると判定したものについては、昭和 50 年 3 月 5 日消防安第 26 号「消防用設備等の設置単位について」（以下「26 号通知」という。）の取扱いにより審査する。

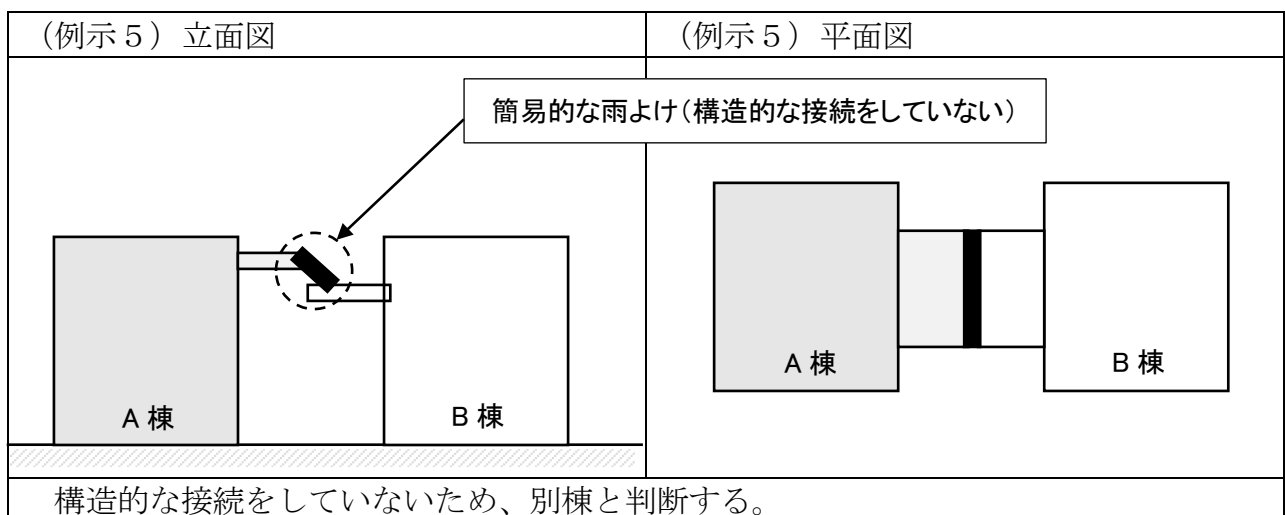
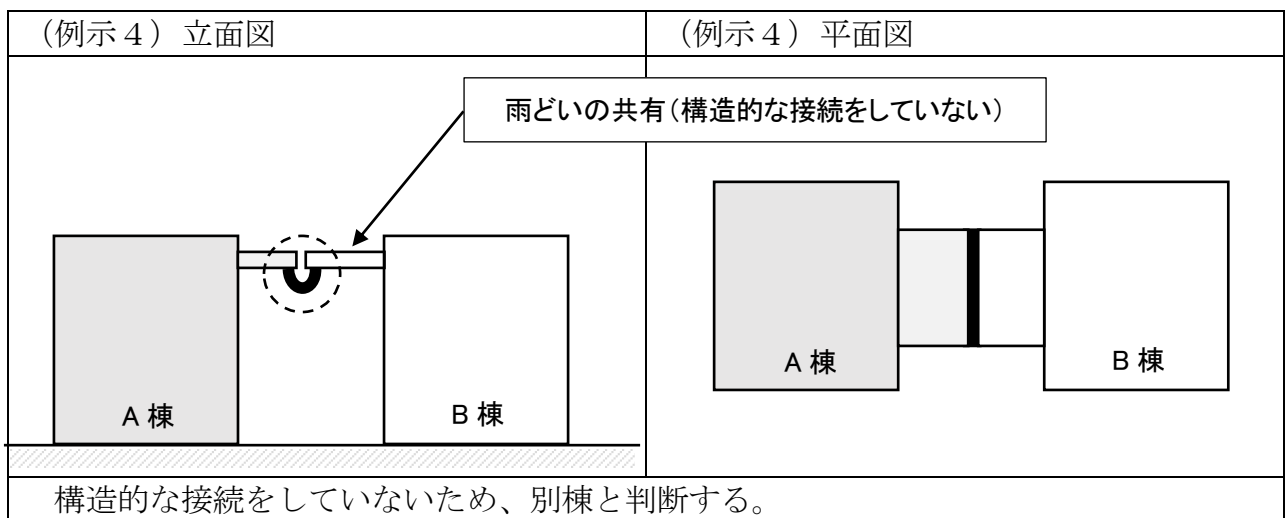
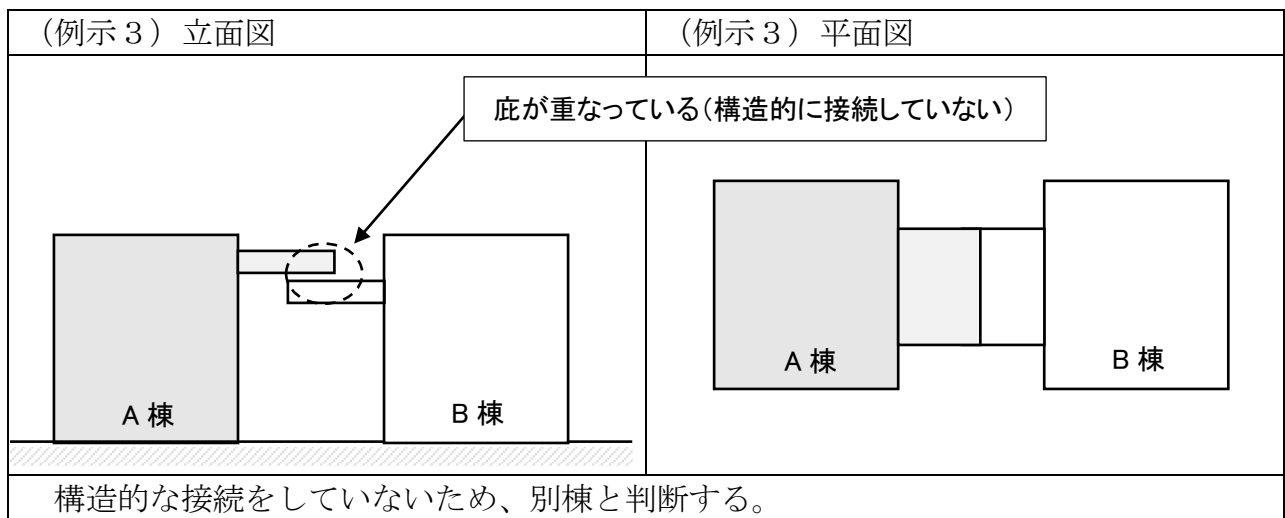
1 建築物と建築物が接続していると判定するもの

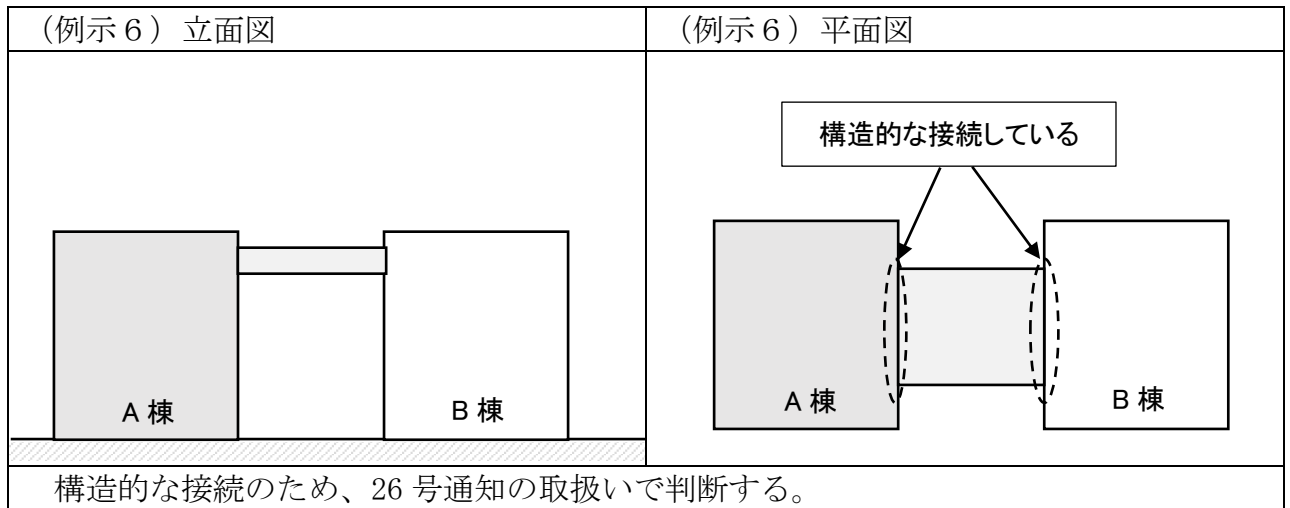
建築物と建築物の構造体が一体となっているなど、建築物と建築物が強固に接続している（以下「構造的な接続」という。）ものをいう。ただし、簡易的な固定（釘やボルトなど）で、市販の工具（電気工具を除く）を用いて容易に切り離せるもののほか、構造的な接続がわずかで、かつ、火災の延焼危険が少ないと判断できる場合は含まないものとする。

2 例示

判断基準の一部を例示として次に示す。その他、例示によらないものや判定に疑義が生じるものは、予防課で協議をして決定する。







附 則

- 1 この基準は令和3年4月20日から施行する。
- 2 この基準の施行日以前に指導した防火対象物については、適用しないものとする。